



多摩総合医療センター

〒183-8524

東京都府中市武蔵台二丁目8番29号

電話 042-323-5111

病院の概要

多摩地域における総合的な医療機能を持つ都立病院として、救急医療、がん医療、周産期医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び骨髄移植医療といった高度・専門医療を実施しております。当院の重点医療は、救急医療、がん医療、周産期医療ですが、それらを支える総合診療も強靱で、ほぼ全ての診療を網羅しております。救急医療では、救命救急センター、東京 ER 多摩総合を有し、365 日 24 時間の救急医療を提供しています。特に、脳卒中、心筋梗塞、心不全などの取扱件数は都内有数の実績です。がん医療では、がん診療拠点病院として、緩和医療やがん相談支援にも積極的に取り組み、あらゆるがん症例で高い診療実績を誇ります。周産期医療は、小児総合医療センターの NICU・GCU 部門と一体となり、総合周産期センターとして多摩地域の困難事例に対応しております。

診療科目

総合内科 腎臓内科 消化器内科 内視鏡科 内分泌代謝内科 感染症科 緩和ケア科 血液内科 脳神経内科 神経・脳血管内科 呼吸器・腫瘍内科 循環器内科 精神神経科 外科 乳腺外科 呼吸器外科（胸部外科） 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 リウマチ膠原病科 リハビリテーション科 診療放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 病理・検査科 救急・総合診療科 救命・集中治療科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/墨東/多摩北/多摩南/神経/松沢/帯広第一病院/宮城県立がんセンター/秋田赤十字病院/山形県立中央病院/白河厚生総合病院/福島県立医科大学会津医療センター/竹田総合病院/水戸協同病院/土浦協同病院/JA とりで総合医療センター/国立病院機構栃木医療センター/済生会宇都宮病院/群馬県立心臓血管センター/埼玉済生会加須病院/埼玉石心会病院/さいたま市立病院/草加市立病院/さいたま赤十字病院/帝京大学ちば総合医療センター/国保旭中央病院/船橋市立医療センター/東京ベイ・浦安市川医療センター/亀田総合病院/国立病院機構東京病院/日野市立病院/青梅市立総合病院/公立昭和病院/東京科学大学病院/東京都健康長寿医療センター/東京大学医科学研究所附属病院/東京大学医学部附属病院/国立病院機構災害医療センター/武蔵野赤十字病院/がん研究会有明病院/横浜市立みなと赤十字病院/川崎市立多摩病院/横須賀共済病院/湘南鎌倉総合病院/国立病院機構相模原病院/川崎市立井田病院/長岡赤十字病院/新潟市民病院/新潟県立燕労災病院/魚沼基幹病院/十日町病院/山梨県立中央病院/安曇野赤十字病院/諏訪中央病院/高山赤十字病院/聖隷浜松病院/沼津市立病院/神戸市立医療センター中央市民病院/島根大学医学部附属病院/隠岐病院/隠岐島前病院/飯塚病院/今村総合病院/沖縄県立宮古病院/浦添総合病院/天理よろづ相談所病院/西伊豆健育会病院〔特別連携〕/島しょ等〔特別連携〕)
- ・外科 (広尾/大久保/駒込/豊島/多摩北/多摩南/小児総合/松沢/島しょ等)
- ・産婦人科 (大塚/駒込/多摩北/東京科学大学病院/杏林大学医学部附属病院/青梅市立総合病院/立川相互病院/田園都市レディースクリニック)
- ・精神科 (広尾/荏原/小児総合/松沢/東京都健康長寿医療センター/青梅市立総合病院/成増厚生病院/高月病院/多摩総合精神保健福祉センター/針生ヶ丘病院/東京科学大学病院/横浜みなと赤十字病院/恩田第二病院/茨城県立こころの医療センター/山本病院/東京大学医学部附属病院/土佐病院/埼玉江南病院/多摩中央病院/神奈川病院/京ヶ峰岡田病院)
- ・整形外科 (広尾/駒込/墨東/小児総合/東京大学医学部附属病院/自治医科大学附属病院/日立総合病院(茨城県))
- ・麻酔科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/荏原/墨東/多摩北/東部/多摩南/神経/小児総合/東京科学大学病院/国立成育医療研究センター/聖路加国際病院/東京ベイ・浦安市川医療センター/埼玉医科大学病院/埼玉医科大学国際医療センター/埼玉医科大学総合医療センター/TMG あさか医療センター/慶應義塾大学病院/順天堂大学医学部附属順天堂医院/武蔵野赤十字病院/順天堂大学医学部附属静岡病院)
- ・耳鼻咽喉科 (駒込/神経/小児総合/虎の門病院/NTT 東日本関東病院)
- ・病理科 (多摩北/神経/小児総合/公立昭和病院/川崎幸病院/東京西徳州会病院)
- ・救急科 (多摩北/小児総合/帝京大学病院(東京都)/佐久総合病院(長野県)/日本赤十字社医療センター(東京都)/浦添総合病院(沖縄県)/秋田赤十字病院(秋田県)/NTT 関東病院(東京都)/昭和医科大学病院(東京都)/埼玉医科大学総合医療センター(埼玉県)/千葉大学病院(千葉県)/旭川医科大学(北海道)/八戸市立病院(青森県)/東北医科薬科大学病院(宮城県)/埼玉県済生会加須病院(埼玉県)/東海大学医学部附属八王子病院(東京都)/聖マリアンナ医科大学病院(神奈川県)/海老名総合病院(神奈川県)/湘南鎌倉総合病院(神奈川県)/相澤病院(長野県)/産業医科大学病院(福岡県))
- ・総合診療科 (神経/小児総合/北海道家庭医療学センター郡部サイト/西伊豆健育会病院/島しょ等)

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/荏原/墨東/多摩北/多摩南)
- ・産婦人科 (墨東)
- ・精神科 (荏原/小児総合/松沢)
- ・麻酔科 (広尾/大塚/駒込/荏原/墨東/東部)
- ・泌尿器科 (駒込)
- ・放射線科 (駒込)
- ・総合診療 (駒込/多摩北)

専門研修管理委員長及びシニアレジデントのひとこと

専門研修管理委員長からのひとこと



救急・総合診療科部長
村田 研吾

【優れた研修環境！】

どこで研修するかは将来に直結する可能性があり、大きな期待と小さな不安があることと思います。当院は初期研修医 30 名、シニアレジデント 104 名、専攻医 40 名を含む 389 名の医師が在籍する教育病院です。優れた研修環境は NPO 法人卒後臨床研修評価機構に以前から認定されており、2017 年には最高賞を授与されています。

【専門は深く、基盤は広く！】

当院はがんや難病に対する高度な専門医療と 1～3 次の救急医療の両方を提供する広域基幹病院であり、シニアの先生方は地域医療を実践しながら、専門性のある質の良い指導医から教育を受けることができます。新宿から 30 分ほどの住宅地に位置しているため、Common disease から Rare disease まで様々な症例が集積し、基本領域からサブスペシャリティ専門領域まで幅広く臨床能力を磨くことができます。また、東京医師アカデミーカリキュラムとして、専門施設を含む全国各地の連携施設で一定期間研修することができるため、1つの病院に固執せずに知識や技術を身に付けられ視野も広がることでしょう。

しかしながら当院の最大の魅力は医師の質と、コメディカル、秘書も含めた対人対応の丁寧さではないでしょうか。他科と協力しながら診療する姿勢は当院の伝統だと思います。

【研究・学習支援も！】

専門医取得のための研究指導は各科だけではなく臨床研究部からも受けることができ、生物統計専門家から研究デザインや統計解析の指導や医学英語を専門とする Native speaker から英文校正を受けることができます。当院からの研究発表は英文論文だけでも年間 100 本を越え、シニアからも毎年複数の英文論文が出ています。UpToDate® などの教科書が各自のスマホにインストールされるだけではなく、院内 PC から和文誌 1,500 以上、英文誌 2,500 以上の電子ジャーナルを無料で読むことができる学習環境も魅力の 1 つです。

【協働して学びたい先生募集！】

当院の臨床スケールの大きさを感じさせる大きな天井と病棟の窓から見える武蔵野台地を感じつつ、他科・他職種と協働して地域医療と専門医療を習得・実践し、学会発表や論文執筆も行いたい先生方はぜひ一度見学にお越し下さい。

* 数字などは 2024 年 4 月 1 日現在の物です。

シニアレジデントからのひとこと①

当院の産婦人科研修プログラムに属し 2 年が経過した所感を述べます。

1 年目は多摩総合医療センターで周産期、腫瘍を中心に学びました。たまそうの良いところは総合周産期母子医療センターかつ東京都指定の母体救命対応施設であり、地域がん治療拠点病院という特性から多彩な症例が集まること、そして 1 年目から主体的に診療に携われることだと思います。経験豊富な上級医の指導を受けながら目まぐるしくも充実した日々を過ごしました。仕事とプライベートのメリハリが明確に設定されている点も、魅力の 1 つでした。

2 年目は青梅市立総合医療センター、東京科学大学病院、都立駒込病院で研修し、周産期や腫瘍に加えて、生殖・内分泌や女性医学に関する知識を広げる機会になり、多面的に患者さんと向き合えるようになったと思います。

3 年目はたまそうに戻り、様々なリスクのある周産期管理や悪性腫瘍の管理などを任される立場になります。不安もありますが、できることが増えていく喜びを日々感じながら診療にあたっています。

3 年間の修練で産婦人科専門医取得に必要な症例はもちろん、それ以上の経験がこのプログラムではできていると思っています。興味のある方はぜひ一度見学に来てみてください。

産婦人科コース 3 年次 桑原 一嘉

シニアレジデントからのひとこと②

当院の後期研修の特徴はなんと言っても豊富な症例で経験を積めることだと思います。私の所属する循環器内科では通常の虚血性心疾患や心不全、不整脈などの症例に加え、TAVI の症例や機械的補助循環を必要とする重症な急性冠症候群・心不全といった多種多様な症例を、頼りになる指導医のバックアップの元で経験することができます。その分業務が多忙となる時期もありますが、当直医制であるため夜間や休日はしっかりと休みを取ることが可能です。

内科プログラムでは全国にある多数の連携病院から自分の希望に沿った病院を選んで 1 年間研修を行うことができます。私は内科全般を診療する総合診療科で 1 年間専門科以外の一般内科診療の研修を行い、自分の視野が広がったように感じました。また、その経験は当院に戻ってきてからの循環器診療に活かすことができています。

私は当院の研修を通して後期研修医として大きく成長できていると思っています。興味を持たれた方は是非一度見学にお越しください。

内科コース 3 年次 飯島 千博